

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
③交流・移住・定住の促進	空き家の掘り起こし・マッチングの仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増加傾向にあるものの、家財整理等の負担から所有者が消極的であり、空き家バンクの登録が伸び悩んでいるなど、空き家の効果的な活用ができていない。 ・空き家利活用の希望があっても、マッチングに至らない場合が多い。

市町名	大学・高校等に期待する取組
竹原市	空き家の活用に関する情報発信、取組や効果的なマッチングの仕組みづくりを検討していただきたい。
三次市	市民と市外居住者等の交流拡大及び定住促進による地域活性化を図ることを目的とすれば、居住目的だけではなく大学生をはじめとした若者や民間企業等が空き家を活用する取組について、検討していただきたい。(ただし、持続性が課題であることも認識している。)
江田島市	空き家のDIYや活用に至るまでの動きなど、今の所有者と次の所有者がともに行動がとりやすくなるような、空き家の活用方法の発信に関する取組を検討していただきたい。
坂町	空き家の掘り起こしと市場への流通は、まず空き家が抱える様々な問題を紐解いていく必要があり、中でも立地条件や保存状態の良くない空き家については、所有者が負の財産となった空き家を押し付けられる相手を探すという構図になりがちになっている。空き家活用の促進のためには、まず所有者本人に、空き家の価値を高める行動を起こしてもらおうよう促す必要があると考えており、この方策について検討していただきたい。
世羅町	人口減少に伴い空き家も増加しているが、空き家の現状把握が難しく、また家財整理の負担、相続や登記手続が滞っている等の理由により、空き家の利活用が進まない状況にある。空き家の掘り起こしや、マッチングの取組を検討していただきたい。
岩国市	空き家所有者、移住希望者双方にメリットのある情報は何か。空き家の登録件数の増加につながる所有者への動機づけ、移住希望者に刺さる、より効果的な空き家のPR手法を検討していただきたい。
周防大島町	空き家の活用にも取り組んでいるが、人口減少により空き家も増加傾向にあるので、新たな活用方法や、移住希望者とのマッチング方法など、特に若い世代の移住・定住に向けた施策を提案していただきたい。
上関町	人口の減少に伴い空き家も増える一方であり、広報やチラシの配布による周知等は行っているが、空き家バンクの登録件数は少ない。また、空き家バンク利用希望の問い合わせも少なくないが、マッチングには至らないケースが多い。テレワーク等により地方への移住者が増えている今、移住・定住の促進のため、今後はより一層空き家の掘り起こしを行う必要がある。空き家バンク登録促進および空き家バンク利用希望者への効果的な情報発信の方法、マッチングの仕組みづくりを検討していただきたい。
田布施町	空き家バンクへの登録は伸び悩んでおり、民間事業者と連携し、空き家に関する相談などに対応する事業の試験導入を開始している。空き家保有者がなぜ空き家バンクの制度を利用しないのか、どのような支援があれば空き家バンクへ登録する動機付けができるのかを調査し、取組を検討していただきたい。
飯南町	空き家バンクへの登録はある程度進んでいるが、物件を利用する側とのマッチングの機会が充分とは言えないため効果的な手法を検討していただきたい。
川本町	空き家を活用したビジネスの創出や短期滞在拠点化(宿泊事業)などへの展開についての取組を検討していただきたい。

市町名	大学・高校等に期待する取組
邑南町	<p>町内外在住の空き家所有者が空き家を賃貸や売買できる「空き家バンク制度」や相続登記等、空き家になってからどのような制度や手続があるか分からない方が多い。</p> <p>一方で、先祖代々受け継いできた家を手放すことを消極的に捉えている所有者が多いという点も課題となっている。</p> <p>今後も町内の空き家が増加していくことが予想されるが、少しでも発生を抑制していく必要があることから、新しい視点で「空き家の活用方法」を提案していただきたい。</p>